

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● ガストリン

(依頼コード No.13935)

受託開始日 2023年5月1日(月) ご依頼分より

ガストリンは、胃幽門部、十二指腸粘膜に存在するG細胞によって分泌される消化管ホルモンであり、胃酸分泌促進、ペプシノゲン分泌促進、胃壁細胞増殖、インスリン分泌促進等の多くの生理作用を有しています。

ガストリンは、ガストリノーマ、Zollinger-Ellison症候群で異常高値を示すことから、これらの疾患の診断に重要な検査とされています。

この度、体外診断用医薬品として薬事承認され、保険適用可能な試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

●当該検査の受託開始に伴い、現行の研究用試薬を用いたガストリン(依頼コードNo.13764)は、2023年4月28日(金)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

依頼コードNo.	13935
検査項目名	ガストリン
統一コード	4G040-0000-023-002
検体必要量	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	2～4
検査方法	RIA・PEG法
基準値	11.9～46.9
単位	pmol/L
報告範囲	11.9未満～4000.0 上限を超えた場合は別紙報告
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	101点/144点(生化学的検査(Ⅱ))

参考資料

(試薬添付文書掲載)

■主な交差反応性

対象物質	交差反応性(%)
ガストリン-17	100
ガストリン-17, 硫酸化体	87.8
ビッグガストリン(ガストリン-34)	83.1
CCK-8	40.4
ガストリン 1-14	<0.01